

第38回 県民総合スポーツ大会 エネクルカップ
第10回 埼玉県スポーツ少年団U-10サッカー大会
地区予選実施要領

第38回 県民総合スポーツ大会 エネクルカップ 第10回 埼玉県スポーツ少年団U-10サッカー大会
地区予選実施要領を次のとおり定める。

各地区協議会等は、本要領に基づき「地区予選実施要項」を具体的に規定して開催するものとする。

- | | |
|--------|---|
| 1 目 的 | 日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指す。 |
| 2 主 催 | 公益財団法人埼玉県スポーツ協会埼玉県スポーツ少年団 |
| 3 共 催 | 埼玉県／埼玉県教育委員会／埼玉新聞社 |
| 4 主 管 | 埼玉県スポーツ少年団サッカー部会 |
| 5 特別協賛 | 堀川産業株式会社（E n e c l e） |
| 6 運 営 | 各地区少年サッカー協議会 |
| 7 期日会場 | 2025年5月～11月 各地区会場 |
| 8 参加資格 | |

- (1) 地区予選開始前までに、2025年度埼玉県スポーツ少年団に登録済のチームであること。
- (2) 前(1)のチームに団員登録済の選手であり、4年生以下の小学生で、スポーツ安全保険又は傷害保険に加入していること。
- (3) 前(2)により当該単位団に登録済の選手は、本大会地区予選開始以降については、転校又は転居による場合を除き、他の単位団に移籍登録して参加することはできない。
なお、地区運営責任者が定める期日までに新たに追加登録を完了した選手については、参加することができる。
- (4) 次の要件のすべてを満たす単位団は、2チームの参加を認める。
 - ① 17人以上の4年生を登録しそれぞれのチームに1人以上の4年生を登録すること。
 - ② エントリー表に記載した選手は、地区予選終了までチーム間を移動しないこと。
 - ③ エントリー表に記載する監督・役員（指導者）は、それぞれのチームを兼務しないこと。
 - ④ それぞれのチームに有資格審判員を2人以上帯同できること。
- (5) 前(1)のチームであって、少人数等のため単独では活動できないチームの救済措置として、次のいずれかの条件を満たすに場合に限り、合同チームでの参加を認める。
ただし、いずれの条件においても、同一地区内とし、あらかじめ地区運営責任者の承認を受けること。
なお、合同チームで参加する場合は、チーム名を「〇〇〇・〇〇〇合同」とし、統一したユニフォームでエントリーすること。
 - ① 合同で参加する全てのチームの団員登録済の4年生が7人以下の場合は、合同するチーム数の制限は設けない。
 - ② 合同で参加する一方のチームの団員登録済の4年生が7人以下の場合は、合同するチーム数は2チームまでとする。

9 参加資格の確認要領

- (1) 地区予選運営責任者は、組み合わせ抽選前までに、参加申し込みチームの前7(1)について確認するとともに、地区運営責任者が定める期日までに、エントリー表とスポーツ少年団登録システムからダウンロードした名簿（団名、団員一覧、指導者一覧、）を照合して、申し込みチーム及び選手並びに指導者の参加資格を確認する。
- (2) 疑義がある場合は、直ちに埼玉県スポーツ少年団サッカー部会長に報告する。
（サッカー部会の審査により参加の可否を決定する。）

10 競技規則 日本サッカー協会競技規則2024／25及び8人制サッカー競技規則による。

11 大会規定 以下の項目については、本大会の規定を定める。

- (1) 競技のフィールドは、68m×50mを基準、ゴールは5m×2.15mとする。
- (2) 試合球は、4号JFA検定球とする。
- (3) 競技者の数
 - ① 1チーム8人の競技者によって行い、競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
6人以上で試合成立とする。

- ② 退場者が出た場合は、交代要員の中から競技者を補充することができる。
- ③ 交代要員の数は、12人以内とする。
- (4) ベンチ入りできる役員は、指導者として埼玉県スポーツ少年団に登録済の2人以上5人以下とする。
(役員・スタッフとして登録している者は、ベンチ入りできない。)
ただし、監督を含む2人以上は、理念を学んだ指導者として登録済でなければならない。
- (5) 競技者の用具・ユニフォーム
 - ① 日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを着用しなければならない。
 - ② 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。
なお、正・副の2色については、明確に異なる色とする。
 - ③ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいときは、両チーム立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ④ 前③の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - ⑤ 選手の用具の運用については、次のとおりとする。
 - ・ソックステープ等の色は、問わない。
 - ・アンダーシャツ、アンダーショーツ及びタイツの色は、問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。
 - ・ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同色系であれば着用することができる。ただし、ビブス等は、不可とする。
 - ⑥ キャプテンが着用するアームバンドについて
 - ・フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。
 - ・アームバンドの代用としてテープなどを着用することができる。
 - ・市販のメーカーロゴが入ったアームバンドの着用は認める。
 - ・スローガン、メッセージの入ったアームバンドの着用は認めない。
 - ⑦ ポイント取替式のスパイクの使用は、認めない。
- (6) 試合時間は、30分(15分ー5分ー15分)とする。
なお、天候により、競技時間内に飲水タイム又はクーリングブレイクを設ける。
- (7) 選手交代
 - 各試合のメンバー20人以内の範囲内で自由な交代とし、交代ゾーンを使用する。
 - ① 主審の承認を得ることなく、インプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。
 - ② ゴールキーパーの交代は、アウトオブプレーのときに、主審に通知し、主審の承認を得て行う。
なお、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
 - ③ ゴールキーパーとフィールドプレーヤーとの入れ替えは、アウトオブプレーになったときに、主審に通知し、承認を得て行うことができる。
 - ④ 交代で退く球技者が負傷している場合は、主審の承認を得たうえでどこからフィールドを離れてもよい。
- (8) キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は、相手チームのゴールキックで再開する。

1.2 総合開会式

- (1) 2025年4月12日(土)
- (2) 鴻巣市立陸上競技場
- (3) 本大会に参加するチームは、参加することを原則とする。ただし、学校行事等で地区運営責任者が承認した場合は、この限りではない。

1.3 報告事項

- (1) 地区予選開始前までに、地区予選実施要項及び参加チーム数をサッカー部会事務局あてにメール送信する。
さらに、地区代表決定後中央大会出場チーム名(所在市町)をメール送信する。
事務局 荻野 敦人 [ogiatu@gmail.com]
- (2) 2025年12月14日(日)までに、事業・収支報告をサッカー部会会計担当に郵送する。
会計担当 山崎 芳和 [〒355-0343 比企郡ときがわ町五明923-10]

1 4 代表権

- ① 第10回エネクルカップU-10中央大会(12月7日～)に1位～3位が出場
- ② さいたま市4年中央大会(11月中旬)に1位～4位出場

1 5 その他

- (1) 要項・確認事項の各条項が守られない場合又は大会運営にあたり不適切な行為等があった場合には、本大会のフェアプレー・規律委員会において審議する。
(JFA懲罰規程による。)
- (2) 競技場内での水以外の“スポーツドリンク”等の持ち込み及び摂取については、JFA通達(2011.5.31)の趣旨に鑑み、使用会場との調整を図りその可否について決定すること。
- (3) 熱中症対策については、JFA策定の「熱中症対策ガイドライン」を基準に対応すること。
- (4) 新型コロナウイルス感染症対策については、埼玉県U-12サッカー連盟ホームページに掲載の「サッカー活動にあたっての基本的な考え方」を参考に対応すること。

以 上

2025年4月5日

埼玉県スポーツ少年団サッカー部会 部会長 関 真一郎

